

---

## 北天院

JR東戸塚駅から電車でJR保土ヶ谷駅方面に向かい少し走ると右車窓から墓地が見える。大きな榎の木が目印である。寺の本堂は山上にあるので電車からは伺い知ることができない。

元々は、現在の墓地辺りに本堂があったのであるが東海道線と横須賀線の複々線化に伴い本堂を山上に移したものである。

まず、ミスターKとの関係を話しておこう。

寺の名を「品濃山 北天院」といい臨済宗円覚寺派の古刹で墓地には笠原家代々の墓がある。要するに笠原家の菩提寺というわけである。

ミスターKの笠原家は、初代が明治初頭に本家から分家したもので私で4代目であるから、そんなに古い家ではない。しかし、私の本家の笠原家は、当代17代目ともいわれているので、かれこれ300年余になる旧家である。

ミスターK子供のころ、現在の墓地の辺りは寺の境内で広い庭であった。

近所のガキ供の絶好のあそび場で、かくれんぼ・缶けり・コマ回しなどで暗くなるまで遊び呆けたものである。

さて、この北天院。弘安2年（1279年）創建で鎌倉幕府執権北条時宗が宋から招いた仏光国師（無学祖元）が開山した由緒ある寺である。

ところで先の白旗神社とこの北天院をめぐる不思議な話として地元郷土史愛好家が以下のような疑問を呈している。(品濃の不思議シリーズ-1…81ページ参照)



北天院(品濃町)

郷土史愛好家の話として疑問1・2・3・4にそれぞれ具体的な答はないものの疑問3の平戸白旗神社～品濃白旗神社～北天院は、鎌倉幕府から見て真北に一直線上に並んでいることについては次のような推論がある。

その根拠は鬼門説で陰陽道では北は鬼が出入りする忌むべき方角とされている。

したがって鎌倉幕府は、この方角に頼朝・義経の武将を祀り仏教的守護として北天院を配し王城鎮護を図ったのではなかろうかという話である。

いまでも、家を建てる時など方角がかなり気にされている。

科学的根拠に乏しいもののエッと思う知識人でもこの迷信に囚われている人が随分いるようである。

かく言うミスターKも現在の住まいを建てる時に神主さんや大工さんにトイレはどこが良いか・神棚・仏壇・お稲荷さんは、どこがよいかなどを相談したものである。

ミスターK自称無信仰者であるがやはり俗説に振り回されていること

は否めないように無意識のうちに大安・仏滅などを気にしている。

余談であるが、この鬼門説からなるほどと思われる事例がいくつか散見される。

例えば、奈良平城京では鬼門の方角に東大寺を配し、平安京では、やはり鬼門に比叡山を配し江戸城では東叡山寛永寺が王城鎮護に当たっている。

奈良や京都に行った時。こんな視点から観光するのも「ナルホド・ザ・ワールド」でちょっとした蒞蓄になるかも。

古今東西いつの時代でも占い・風水・悪魔・俗説など滑稽といえば、反論があるであろうが、まことしやかに広く流布していることは人間がいかにかちっぽけな存在であるかという証左であろう。